

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和5年6月23日

作成者：藤井 健三

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
日本スリランカ友の会 関西	
事業名	日時(期間)、場所
スリランカとの草の根国際交流	初回(5月10日) 於：リザあしや
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
ふれあひスリランカカフェ (年2回) スリランカ産誇る"セイロンティー"を各種取揃え、試飲をしいたたくとともに、気に入った紅茶をお買い求めいただく。 産地の状況や紅茶の種類、美しいいれ方などをお伝えし、紅茶文化を通してスリランカに触れていただく。	(約60)人
	参加者数
	(約60)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
日本にとって紅茶の最大の輸入国スリランカを身近に感じていただき、歴史的にもスリランカから第二次世界大戦後、当時"東洋の奇跡"といわれるまでめざましい復興を遂げた日本にとって大恩人であることに思いをいたしてもらうことにつながる。1951年のサンフランシスコ講和会議における当時のセイロン全権代表波マツグチ氏の名演説で日本は独立が認められた。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
1. コロナ禍で開催を中止していたスリランカ研究会(スリランカの文化をテーマ毎に学ぶ)を再開したい。 2. 年5回(ふれあひカフェ2回, スリランカ物産展3回)スリランカ研究会などにより多くの参加をいいたおけるように工夫し、充実させたい。 3. 会報(年2回)やHPなどで豊富な情報を発信していきたい。	